

(様式3) 【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	益田市立中西中学校		
学 年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習 の時間	地域学習 (先輩と語る会)	地域の方々
ねらい	地域の先輩と語る会で、「ひと・こと」と出会うことで、自分の住む地域のよさ、課題、環境を知る(学ぶ)契機とする。		
<p><b>1 取組の概要</b></p> <p>地域の方と生徒が1対1で対話をする場として、トークフォークダンスを実施した。中西中学校は1年生で地場産業にふれたり、公民館に出かけたりする学習があり、その入り口として「地域の人と出会う」プログラムとして、この学習活動を位置付けている。</p> <p>トークフォークダンスの内容としては、「パンとご飯ならどっち？」など、アイスブレイク的な問いから、「益田で好きなのところ」や「これから頑張りたいこと」といった、地域に関する問いや、その人の在り方や生き方に迫る内容を話す場となった。</p> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">  </div> <p><b>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元で生きる大人の方との対話を通して、改めて地元の良さに気づく。</li> <li>・ 自分の話をしっかりと聞いてもらえる安心感を得て、地元の人を好きになる。</li> <li>・ 活動している大人の想いを聞くことで、今後の実践意欲を高める。</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手に自分の考えや気持ちを伝えることを通して、コミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>・ 自分の言葉でアウトプットすることを通して、自己内省を促す。</li> </ul> <p><b>3 児童・生徒に見られた変容 (どのような力が身に付いたか等)</b></p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元の行事などに参加する生徒の増加</li> </ul> <p>(学力育成の視点から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積極的に対話する生徒が多く、自分の話を他者に伝えることと同時に、相手の話をしっかりと傾聴する姿があった。</li> <li>・ この学習活動を昨年度に実施した学年が、大学生との対話を行った。その際に、相手の話をしっかりと聞こうとする姿が多くあり、誰かと対話することによって、新たな学びや気づきを得ることに喜びを感じている生徒が増えてきている。非認知能力ではあるが、この積み重ねが認知能力の向上につながると確信している。</li> </ul> <p><b>4 課題や今後の展望</b></p> <p>地域の大人に参画してもらって実施する対話活動はとても価値のあることだと感じている。この活動を持続可能なものにするために、日頃から公民館や地域と連携を取りながら、社会に開かれた教育課程の編成と実践を積み重ねていきたい。</p>			

※取組の様子がわかるような画像(1枚が500kb以下)を数枚貼り付けてください。

※この事例をしまねのふるさと教育ホームページに掲載する予定のため、画像は必ず承諾を得たものにしてください。